

議会だより



なかさつない



友達いっぱいできるかな…? (中札内小学校『入学式』)

3月定例会

令和3年度予算審議	P 2～7
条例の改正、指定管理者の指定、補正予算	P 8～9
一般質問 ～5人の議員が登壇～	P 10～12
議員のひとこと ほか	P 12

を持続・より強化する取組みのための骨格予算を提案

令和3年度は、6月に村長選挙を迎えることから、骨格予算としての編成となりました。

本村の基幹産業である農業を中心に地域経済を支え、「日本で最も美しく、健康で、文化的な村」という柱を持続し、強化するよう取組むための予算となっています。

継続事業となる役場新庁舎外構工事・道の駅改修工事に加え、各施設の老朽化や道路・水道などの公共施設の長寿命化対策を進め、村民の皆様が安心して暮らせるための編成となっています。

一般会計は**前年度対比10.0%減の51億20万円**で、5特別会計を合わせた全会計総額が、**前年度対比5.3%減の65億2,260万円**となりました。減額の要因としては、新庁舎建設事業と消防庁舎増築・改修事業の大型事業があったことによるものです。

3月定例会での予算審査における質疑の内容についてお知らせします。

令和3年3月村議会 定例会

中札内村議会定例会は3月2日に招集され、会期を11日までの10日間とし行われました。

2日は、承認1件、一般会計補正予算を含む議案14件が審議可決されました。

再開した8日には、5名の議員が一般質問を行いました。

9日からの本会議では、新年度各会計予算案6件と追加提案の一般会計補正予算について審議し、10日までにすべての案件の審議を終了し閉会しました。

一般会計 歳出の概要

(単位：万円)

款	令和3年度	令和2年度	増減額	主な事業（新規・継続）	
1 議会費	4,581	4,482	99		
2 総務費	12億364	17億5,879	△5億5,515	新規	JAL 派遣職員負担金 560
					公共施設解体撤去等工事 5,398
				継続	庁舎建設事業 1億1,311
					六花の森イベント事業補助金 800
					高齢者安全運転サポート補助金 160
					ふるさと納税推進 4億1,521
3 民生費	7億5,005	7億4,316	659	新規	児童館外部・内装工事 2,868
					保育園遊戯室床改修工事 825
4 衛生費	3億3,548	2億4,326	9,222	継続	高齢者民間バス運賃助成 300
				新規	診療所指定管理委託料 1億1,150
5 労働費	701	712	△11	継続	インフルエンザ予防接種 428
					七色献立プロジェクト 1,576
6 農林業費	5億718	4億9,921	797	新規	堆肥化処理施設補修工事 317
					農産物集積場（堆肥場）設置 550
					豆類自動包装機導入補助 3,000
				継続	新・元気な畑づくり事業補助金 600
					村有林整備事業 2,545
7 商工観光費	3億4,739	1億9,448	1億5,291	新規	地域応援プレミアム商品券 1,048
					商工業プロモーション推進事業 450
					にぎわいづくり起業家等支援 800
					札内川園地指定管理委託 1,631
					道の駅改修事業 1億2,112
8 土木費	4億6,462	5億3,739	△7,277	新規	公園施設改修事業 561
				継続	道路改良舗装工事 4,320
					公営住宅改修工事 1億802
9 消防費	1億6,432	4億9,728	△3億3,296		
10 教育費	6億2,677	5億4,428	8,249	新規	山村留学事業 93
					教育振興基金への積立 5,000
					運動公園・PG場管理事業 1,376
					交流の杜体育館屋根改修工事 6,500
				継続	通学費等助成事業 144
					教育ICT環境整備事業 2,860
11 災害復旧費	0.1	0.1	0		
12 公債費	4億5,950	4億1,389	4,561		
13 諸支出金	1億8,343	1億7,522	821		
14 予備費	500	500	0		
歳出合計	51億20	56億6,390	△5億6,370	増減率 △10.0%	

接種
事業費

誰もが等しく
接種できる状況へ
新型コロナウイルスワクチン

接種事業費
476万円

問

高齢の接種対象者で、足の不自由な方への対応と接種に関する周知方法は。

答

農村地区は希望者をマイクロバスで移送し、市街地はくるくる号の臨時便や移送サービスを利用いただくこととしている。

また、接種に関する問合せは、3月に開設するコールセンターの利用をお願いしたい。

問

接種が遅れる可能性があることから、福祉施設での定期的なPCR検査実施の考えは。

答

一斉検査の受け入れ体制がないことから、全員への実施は不可能と考え、症状が出た場合の個別対応となると思われる。定期的な検査はできないと判断している。



観光費

指定管理による運営始まる

札内川園地管理費 2117万円

問

キャンプ場の使用料を徴収することになったが、長期滞在する方への減免措置はないのか。

答

一人に占有されるのではなく、多くの方に利用いただきたく、減免の措置は考えていない。



札内川園地

問

山岳センターのジオラマ（模型）を修理する考えは。

答

国立公園化の中で、ビジターセンターとして山岳センターの活用方法を検討したい。

観光費

広大な自然を守るために

日高山脈国立公園化啓発事業
200万円

問

啓発事業として計画する講演会の講師は。

答

決定はしていないが、自然活動や登山、自然環境に造いのある方を想定している。

企画費

起業に向けた経済的な援助

にぎわいづくり起業家等支援事業補助金
800万円

問

補助金を受けるための要件と申請の審査はどこが行うのか。

答

3年以上事業継続することが条件で、商工会で審査を実施。

コミュニティ
バス運行管理費

くるくる号の運行形態

コミュニティバス運行管理費
969万円

問

くるくる号の乗車数が少ないことから、デマンド運行に変更しては。

答

小回りの利く車両に変更すると、運行に係るコストが大幅に増加することから、今後利用者の意向確認をしながら検討したい。

問

農村部は、幹線道路まで出るのが大変なようだが、その対応は。

答

利用者の声を聞き、路線の見直しをしながら、対応をしている。再度周知したい。

提言

色んな方法を検討し、効率のよい運行を目指すべき。



できるだけ早く、効果的な活用を検討すべき。



旧中札内高校（旧ゲートボール場）

問 旧高校とひばり荘で、庁内検討委員会で検討しているが、具体的な活用については未定となっている。

答 取り壊す施設と、跡地の活用方法は。

総務
管理費

未来を見据えた活用を

公共施設解体撤去等工事 5398万円

総務
管理費

新庁舎移転後の経費は

役場庁舎の光熱水費 579万円

問 新庁舎に移転して増額となる要因は。また、新電力利用は継続するのか。

答 地中熱システムにより、燃料費は大幅に減額となるが、電気料が増額となる。なお、電気の契約は北電となり、状況を見て新電力の検討をしたい。

総務
管理費

夜でも安全な街を目指して

街路灯・防犯灯取替工事

問 街路灯のLED化により、国道の街灯を2灯点灯にする考えは。LEDへ交換した時点で、2灯点灯としたい。

答 LEDへ交換した時点で、2灯点灯としたい。



企画費

村活性化に繋がる事業へ支援を

六花の森イベント事業補助金 800万円

問 イベントの開催場所を「六花の森」以外の村の公園で開催できないのか。

答 知名度のある「六花の森」とすることで、多くの人に来てもらい、村のPRに繋げることができると判断している。



企画費

人気のある返礼品への対応は

ふるさと納税費 4億1521万円

問 昨年からの引き続き返礼品の一部で、7ヶ月待ちの状態が続いているが、今後改善の見通しは。昨年末から個数限定で受付しており、秋頃までに2ヶ月程度となる見込み。

答 昨年からの引き続き返礼品の一部で、7ヶ月待ちの状態が続いているが、今後改善の見通しは。昨年末から個数限定で受付しており、秋頃までに2ヶ月程度となる見込み。

問 肉の調達状況と長期間の待ちによるクレームはないのか。

答 業者を確認し、肉の調達には問題はなく、苦情は出ているが丁寧に対応している。



社会
福祉費

就労センター体制の充実を

社会福祉協議会補助金 1915万円

問 高齢の対象者が増えているのに、就労センターの会員が減少している理由はなにか。

答 働き方改革や社会情勢の変化により、高齢者の就労が増えていることも影響しているのでは。

問 社協でアンケートを実施し、回答者の8割は事業の継続を望んでいることから、村も協力して、働きやすい環境づくりを進めるべきでは。

答 受けている仕事も重労働が増え、大変になってきているようで、生きがいづくりを主眼に、ニーズや在り方について社協とも相談していきたい。

児童福祉費

児童クラブの運営について

上札内放課後児童クラブ運営委託
474万円

問 委託料が100万円ほど増えている理由は。新年度の受入れ人数は。

答 人件費の単価を誤って積算していたためで、単価が上がったこと、任用方法が変更になったことにより増額となった。また、新年度は2名の申し込みとなっている。

問 指導員2名の体制が変わらないのであれば、入所要件の見直しを検討しては。児童保育の受入れ基準は、父母の就労が前提となる。交流館は一般児童の利用は可能であるため、区分して見守りの体制について検討したい。

環境衛生費

有害鳥獣駆除に向けた取組

有害鳥獣駆除補助金 631万円

問 駆虫剤の効果が出ているが、十勝全体で広域的な取組みが必要ではないのか。

答 新聞報道などで他町村から問合せがある。隣接する更別・帯広・芽室まで広がってほしいが、経費のこともあり簡単ではない。今後も会議等で要請したい。



母子保健事業費

母子手帳の電子化は

母子保健事業費 1088万円

問 電子母子手帳の導入に向けた検討は。

答 他町村の情報では、アプリの導入が少ないのと、紙との重複が生じるデメリットもあるようで、新年度に対象となる母親と検証してみたい。

成人保健事業費

健やかな毎日を目指して

七色献立プロジェクト 1576万円

問 健診受診率と健康ポイント事業参加者の受診率は。

答 村全体の受診率は40%前後で、健康ポイント事業チャレンジコースへの参加者は57.9%となり、受診率が向上している。

提言 今後も健康ポイント事業参加者への受診勧奨と、村全体の受診率向上のための取組の強化を。



農業振興推進費

ニーズに応える姿勢を

新・元気な畑づくり事業補助金
600万円

問 除れき・客土単価の高騰により、補助率の変更など、農業者の要望を確認しているのか。

答 今年度アンケートを実施しており、令和3年度中に事業内容を整理することとしている。

農業振興推進費

製造ラインでの感染症対策

豆類自動包装機導入事業補助金
3000万円

問 農協と協議した結果と思うが、これ以外に個々の経営に対する補助はないのか。

答 コロナ対策の一つとして、1月に村長と組合長が協議している。今後も継続し対策の協議を進めたい。

村有林管理費

景観保全に関連づける取組を

村有林支障木伐採委託 69万円

問 耕地防風林が、美しい村連合に加盟するアピールポイントになっていることから、しっかり予算を付けて管理すべきでは。

答 村有防風林整備については、計画どおり進めてきているが時間がかかるのも事実。

予 算 審 査

商工 観光費

スノーアート事業の継続

観光振興事業費 2272万円

問 梶山氏が協力隊を退任されるが、スノーアート事業は継続されるのか。

答 観光協会が事業として実施予定で、アート作品は梶山氏へ作成を委託する予定。



公園 管理費

駅跡に確かなにぎわいを

公園整備調査設計委託 561万円

問 鉄道記念公園の改修計画策定には、ワークショップを導入するのか。

答 10月までに、無作為抽出と公募によるワークショップを2回ほど予定し、12月までにはまとめたい。



除雪費

大雪でも安心できる街へ

除雪委託 5560万円

問 市街地の除雪で間口に残る雪に困っている。大型車両の後に、小型ショベルで除雪する方法の検証は。

答 委託先との協議で、人員や作業機を増やすことになるため検証はできていないが、福祉サイドとも協議し検討したい。

問 担い手確保のための、委託先と保証に関する協議はしているのか。

答 協議の上、令和2年度から現場管理費の引上げや最低保証時間の変更などを行っている。

道路 維持費

舗装のヒビ割れ対策を

道路維持補修工事 2974万円

問 道路のクラックにコーラルを注入して補修しているが、あまり効果がなく、翌年にクラックが入っている場所もある。補修方法に問題はないか。

答 業者にも確認しているが、良い方法が見つかっておらず、課題となっている。無駄のない工法を検討していきたい。



中島浄水場 管理費

適正な撤去に向けて

施設調査委託 34万円

問 アスベストの検査となっているが、どの施設の調査なのか。新札内南にある水道施設を取り壊すために調査を行う。

答

消防 設備費

救急車の更新計画

とかち広域消防事務組合負担金 1億4328万円

問 救急車の更新計画は。また、前回同様、JA共済を活用した導入を予定しているのか。

答 現車両は、平成20年に導入していて、消防本部を通じJA共済に要望をしているところで、更新時期は未定。



災害 対策費

避難所での感染症対策

備品購入費 328万円

問 プライベートルーム50張とは、どういうものか。

答 避難所における感染症対策やプライバシーを守るため、ダンボールベッドが2台設置できる2m四方のドーム型テントとなる。

令和3年度

教育総務費

学習環境の改善を

スクールカウンセラー報償費 14万円
 スクールカウンセラー業務委託 208万円

問 現行体制のスクールカウンセラーの成果は出ているか。また、報償費と委託料の違いは。

答 中学校で長期欠席1名・全欠席が1名となっていて、過去は5名ほどいたが減少してきている。一概には言えないが成果が出てきていると思う。

なお、報償費で対応の個人の方は、小学校2校を、委託費となる北斗病院の認定心理士の方には、引き続き中学校を担当していただく。



スクールバス運行管理費

運行委託料の増加要因

通学用自動車運行管理委託 2928万円

問 300万円ほど増額となっているが要因は。

答 村有バス3台と借上車1台で運行しているが、過去10年間人件費の改定をしていなかったため、今回改定し計上したため。



教育委員会事務局費

山村留學事業で活性化に期待

山村留學事業費 93万円

問 山村留學の応募状況と住宅の確保は。

答 認定者は、新一年生に男児2人・新六年生に女児1人となり、3家族が上札内の教員住宅や民間借家での生活となる。

問 3世帯となる補助金が足りないのでは。

答 予算策定時は、1世帯分で計上して、新年度の補正予算で対応したい。



山村留學生 受入式の様子

保険会計特別

高齢者の暮らしを守る事業を

生活支援体制整備事業委託 611万円

問 委託の内容は。

答 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくためのサービスの見直しや、新規事業の開拓を行う。

問 社協への委託となるが、新規職員を雇うのか。

答 現在いる職員で対応する。

公共下水道特別会計

下水道事業の行財政運営は

終末処理場処理施設工事 2億620万円

問 施設工事が高額であるが、更新計画の総額は。

答 施設の老朽化による改修で、令和2年から6年の計画で、総額は10億3400万円となる。

問 水道会計も含め、企業会計へ移行予定だが、会計処理は自賄で可能なのか。

答 職員で実施する予定であるが、令和3年度中に精査したい。

公共下水道特別会計

汚泥の処理・活用方法

脱水汚泥堆肥化処理委託 1485万円

問 堆肥化して畑地に還元すべきで、再度育成牧場や堆肥化処理施設で、できないのか検討すべきでは。また、委託先は変わるのか。

答 相談はしているが、水分が多いことや髪の毛が多く、処理が難しい。令和3年度からは、処理単価が安い更別村の業者に委託する。

村から提案された予算について審査を行い、可決しました。

予算に対する質疑や提言が、令和3年度の予算執行に当たり十分に効果が発揮されるよう、議会として引き続きチェック機能を果たしていきます。

新型コロナ対策基金条例、診療所指定管理など 条例制定・改正や補正予算、債務負担行為等可決

専決処分

◆令和2年度中札内村一般会計補正予算

新型コロナウイルススワクチン接種に係る経費の計上。
1月の降雪増による除雪費の増額。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、各学校の手洗器の自動水栓化や、加湿空気清浄機等の購入費用を増額するため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分をしたもの。

問 ワクチンの接種券と併せて問診票を送付するのか。また、問診票は先に記入するのか、当日なのか、どのような方法を考えているのか。

答 接種券には問診票は同封しない。接種券と接種日や予約の方法を説明するものを同封し、予約を受付ける。受付した方に、予診票を送付して記載いただき、当日持参してもらう形で考えている。



接種券の見本

条例の制定

◆中札内村中小企業新型コロナウイルス対策基金条例

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、中小企業振興資金コロナ特例分の利子補給財源を積立て、次年度以降に活用するための基金条例を制定。

◆中札内村教育振興基金条例

ふるさと納税をはじめとする寄附金等を積立て、学校教育・社会教育の充実及び振興を図ることを目的に基金条例を制定。

条例の改正

◆中札内村公園設置条例の一部改正

施設を適正管理するため、無料であった札内川園地内のテントサイトを有料化し、料金体系も一部見直したことから、条例の一部改正を行うもの。

◆中札内村手数料徴収条例の一部改正

地籍図等の複写及び閲覧に係る手数料等について、複写手数料を細分化し、手数料額の改定を行うため条例の一部改正を行うもの。

問 地籍座標管理図複写手数料の減額が大きい理由は。

答 管理システムが更新され、A1サイズからA3での印刷が可能となったため。

その他の条例改正

- ◆中札内村役場位置条例及び中札内村公共下水道設置条例の一部改正
- ◆中札内村介護保険条例の一部改正
- ◆中札内村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

債権放棄

◆債権の放棄

村営住宅使用料及び簡易水道使用料で債務者の所在地不明・死亡・自己破産の免責決定を受け、徴収が不可能なことから、債権を放棄するため、地方自治法第96条第1項第10号の規定により、議会の議決を求めるもの。



高レベル放射性廃棄物の最終処分場にしないことを求める意見書の採択を求める請願

提出者 中札内平和運動フォーラム
紹介議員 大和田彰子
結果 採択

— 同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました —

補正予算

歳入 法人事業税交付金

500万円

問 交付金の内容は。今後も継続されるものなのか。

答 一昨年の消費税の増税に伴う、国税と地方税の偏在是正を目的としたもので、道から人口割で交付され、今後も継続される。

戸籍住民費

個人番号カード等交付事務負担金
51万円

問 現在までの発行枚数と、伸びている要因は。

答 カードの発行枚数は、平成27年度から始まり年間100件前後であったのが、令和2年度は2月時点で311件と伸びている。
要因は国が進めるマイナポイントによるものと思われる。

問 保険証や住民票のコンビニ交付などの機能が強化される話があるが情報は。

答 保険証の場合は読み取りの機器の整備、住民票の発行は別のシステムの連携が必要で、4月からの運用はできないと思われるが、詳しい情報は来ていない。



浄化センター維持管理費

脱水汚泥堆肥化处理委託 94万円

問 今年度、二度追加補正となっているが、年間の排出量の見込みは。

答 年々、下水道の水質悪化により量が増えている。今年度は931tを予定している。なお、今回は50t分を追加している。



地方創生臨時交付金とは

新型コロナウイルス感染症拡大の防止、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図ることを目的とした国からの交付金

地方創生臨時交付金の対象事業

令和2年度における新型コロナウイルスに対応した、国の地方創生臨時交付金を活用した事業についてお知らせします。

歳出

- ◇ 感染症対策用消耗品 470万円
- ◇ 感染症対策用備品 358万円
- ◇ 執務室の分離 48万円
- ◇ リモートワーク環境整備 277万円
- ◇ 感染防止普及啓発 9万円



執務室分離の様子（役場庁舎2F）

- ◇ 健康支援事業 323万円
- ◇ 商工業事業継続支援 6227万円
- ◇ 事業者感染症対策支援 878万円
- ◇ 商業経済活動支援 463万円
- ◇ 教育のICT化事業 935万円



歳入

- ◇ 学校保健特別対策 275万円
- ◇ 公立学校情報化機器整備 112万円
- ◇ 産前産後支援ヘルパー事業 2万円
- ◇ 高度無線環境整備推進事業負担金 1億4271万円

地方創生臨時交付金

- 第一次交付 5136万円
- 第二次交付 1億3919万円
- 第三次交付 5592万円
- 総額 2億4647万円

債務負担行為

中札内村立診療所の指定管理に係る協定に基づく委託料

(5年間の限度額) 3億5750万円

問 万が一、委託料に不足が生じた場合は追加する考えを持っているのか。

答 4月からスタートするため、複数年運営してみても不足を生じる場合は、単に増額するというのではなく、十分に協議した上で追加させていただく可能性はある。

問 更別村では、担当医師が教育関係者や保健師など様々な職種の人たちと意見交換を行い、信頼関係を築いているようだが、本村においても住民との信頼関係の醸成が大切と思う。村としての取組みはどのように考えているのか。

答 担当いただく高石医師や、関係する職員についても可能な限り村に住んでいただいて、住民に近い医療機関となるよう希望している。また、家庭医療学センターの基本的な考え方である福祉・医療の総合診療ということで、福祉施策についても意見を求めている。

北嶋議員 新庁舎外構へのカシワの植栽を

森田村長 再協議により植栽を判断

カシワの木の植栽



北嶋信昭議員

新庁舎が完成し外構工事が始まりますが、外構の樹木の植栽には設計当初から、村民に親しまれた樹木をと、中札内の象徴の木である「カシワ」を提案してきましたが「検討の結果」ということで却下されました。

上札内小学校・中札内小学校・中学校・旧高校の校章には「カシワの葉」が、中札内小学校・中学校の校歌には「カシワ」が歌われており、我々が子どものころから、親しんで来たのが「カシワの木」なのです。

村民に親しまれてきた樹木であり、村の象徴である「カシワの木」の植栽について、少数かもしれませんが、村民の貴重な意見をどのように受け止めているのか伺います。

森田村長

昨年の5月臨時会において、議員から「新庁舎外構整備について、村木のカシワを植栽すべきではないか」との意見をいただき、全員協議会においても、ほかの議員の方からも同様の意見があったところです。

当初は長期的な維持管理の面を考慮して、選定していませんでしたが、貴重な意見をいただいたことから、造園業者に助言をいただき、大きさの管理が剪定等により可能であることが確認できましたので、新庁舎建設ワーキング会で再度協議を行い、最終的に「カシワ」を植栽する判断に至りました。

将来、役場庁舎のシンボリックな位置づけになるよう整備してまいります。



中札内小学校 校章

黒田議員 再度村政を担う考えは

森田村長 再選出馬を表明

今後の村政について



黒田和弘議員

森田村長は、平成29年6月に村政を担ってから、任期まで残り3カ月余りとなりました。

その間、公約を反映した数多くの業務などを積極的に推進してきたことは、多くの方が認めており、高く評価しているところであります。

村長は、村民第一主義を基本に、村の将来に向かってさらに前進させるため着実に取り組んでおられます。次の点について伺います。

①公約の進捗状況と、それに対する自己評価は。

②6月に村長の改選期を迎えるにあたって、再度村政を担う考えは。

森田村長

①まちづくりの柱となる「日本でも美しく、健康で、文化的な村」を推進し、「ともに支え合う共生の村」「活気にあふれ成長する村」「未来に前進する希望の村」を政治公約として、第6期中札内村まちづくり後期計画などに盛り込み、実現に向けて最善を尽くしてまいりました。

私の政治公約として掲げた32項目中、31項目が実施済み、または一部実施、検討中が1項目であります。

②村民のお許しが得られるならば、村の豊かなまちづくりの大地のお世話役として、引き続きこの身をささげ、全力を尽くしたいと決意を新たにしております。

残りの任期を新型コロナウイルスへの対応や庁舎移転後の円滑な業務移行など眼前の課題に対処して参る考えであり、引き続きご協力とご指導をいただきますようお願い申し上げます。

一般質問

宅地分譲地開発

宮部議員 今後の宅地分譲地の考えは

森田村長 庁内検討委員会で検討に着手



宮部修一議員

宅地分譲地「ヴィレッジときわ野」も平成20年度より販売が始まり、令和2年度で総分譲数100区画が完売となりました。購入者の内訳は村内在住者が51区画、村外からの移住者が49区画で、移住・定住促進政策の面でも大きな効果があったと考えられます。少子高齢化による人口減少問題を考えた時、移住・定住促進政策の継続、若い子育て世帯の持ち家の夢をかなえるためにも、次の分譲地の造成が必要と考えますが、村としては今後の分譲地開発をどのように考えているのかお聞きします。

また、住宅建設費高騰により、中札内スタイル住宅建設奨励金を見直す考えはないのか伺います。

森田村長

令和2年度中に宅地が完売する見通しとなったことから、今後の対応を協議すべく「宅地分譲地庁内検討委員会」を開催し、新たな分譲地造成の方向性などについて検討に着手したところです。

現在のところ具体的な計画を立案するには至っていませんが、大規模な宅地分譲を行うのが本村にとって真に有効な施策であるのか、非常に判断が難しく、今年度については拙速な判断をせず、継続協議することとしました。

中札内スタイル住宅建設奨励金の見直しについては、移住定住の推進に大きな成果があったと認識しており、制度の見直しも検討していきます。



大和田議員 村が窓口となる考えは

森田村長 情報・意見交換し検討



大和田彰子議員

ファミリーサポートとは、「子育ての手助けをしてほしい人」と「子育てのお手伝いをしたい人」が会員となり、子どもの預かりの援助をする事業です。

以前の子育てアンケート調査結果では、「仕事や病気の時に預かってくれる所が欲しい」との要望が一番多く挙げられていました。

現在、本村でファミリーサポートを立ち上げたいと考えている住民がおりますが、村が窓口となり対応していく考えはあるのかお伺いします。

森田村長

子育て世代が安心して暮らせる「少子化・子育て支援施策の推進」は重要な課題であ

り今までも検討してきましたが、受け入れる提供会員の確保が難しく、実施を見送ってきた経緯があります。

村内に「ファミリーサポート事業」を立ち上げ、困っている親御さんを援助したいと考えている住民の方がいるとお聞きしましたので、今後援助できる住民を増やし、「ファミリーサポート事業」がどのようなかたちで実現できるか、情報交換・意見交換しながら検討していきます。



日高山脈襟裳国定公園 の国立公園指定化

船田議員 国立公園指定化で

森田村長 相乗効果とブランドの向上を

一般質問



船田幸一議員

正式名称、面積規模など国立公園指定化への動向と「日本でも美しい村連合」との関連や次期「まちづくり計画」への影響について、お伺いします。

森田村長

環境省では国立公園指定に関する基本方針を作成し、2月17日、初めて圏域の13市町村と北海道、環境省で関係自治体連絡会議が開催され、「国立公園ビジョン」の策定に向け、スケジュールが示されました。

①公園の名称に「十勝」を加えることを要望、日高側は反対しないという意向です。
②中札内村に属する面積は、12,728haで2番目、一番は大樹町13,472ha、最少は清水町3,418haです。

③中札内圏域に私有地は無く、国有地及び公有地のみとなっています。

④メリットは、自然や景観の保護、イメージや知名度が向上し、観光客や利用者増による経済波及効果があることです。デメリットは、野生動物への餌付けの横行や環境の悪化、整備等の制限、各種手続きの煩雑化などがあります。

⑤機運を高めるため、著名な講師などによる村民参加の講演会の開催を予定しています。

⑥村観光協会と連携し、チャーター機による周遊ツアーに参加する村民への助成を行う予定です。

⑦積極的な情報発信を行い、村内や観光施設への来場者の増加と地元商業の活性化などへの相乗効果が期待できます。

⑧4月以降、基本計画の策定作業に入り、環境省の「国立公園ビジョン」と整合性を図り、まちづくり計画に盛り込みます。「日本で最も美しい村」連合関連では、鶴居村など他の国立公園エリアに属している町村からの情報を収集し、ブランドの向上を目指します。

農村環境改善 センターの活用方策

船田幸一議員

行政区で利用する場合、料金を徴収することは妥当なのか。

森田村長

会館や公会堂を保有している行政区との公平性も考え、妥当と判断している。

6月定例会のお知らせ

主な内容は、一般質問と議案の審査です。あなたも村の議会を傍聴してみませんか。

議会中継はYouTubeで配信しています。村のホームページ内の『議会中継』のページから、YouTube中札内村議会公式チャンネルにアクセスできます。

議員のひとこと

過日、3月定例議会で新年度予算が提案され、6月に予定されている村長選挙を踏まえた骨格予算として議決し、4月より新年度がスタートしました。厳しい寒さと雪との生活から解放され、中札内村が一番美しく輝く新緑の季節ですが、昨年度はじめよりの新型コロナウイルス感染症のワクチン接種がなかなか思うように進まない中で、終息の見えない日々が続いています。昨年、村民の皆様アンケートにご協力いただき、その結果をもとに「情報共有」と「住民参加」のまちづくりを基本として、議会改革に取り組んでいる最中です。

『体と体 はなれても 心と心 よりそって』

3密対策の中で、東京在住の版画家大野隆司氏から頂いたこの言葉を大切に、新年度も村民の皆様にご覧いただけたら嬉しいと思います。

(中西 千尋)